



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月18日

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス
コード番号 3753 URL <http://www.flight-hd.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 圭一郎

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松本 隆男

TEL 03-3440-6100

定時株主総会開催予定日 2023年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	3,009	7.4	79	49.7	56	63.3	41	63.8
2022年3月期	3,249	4.6	157		154		114	

(注) 包括利益 2023年3月期 35百万円 (66.7%) 2022年3月期 105百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	4.37		7.5	3.3	2.6
2022年3月期	12.06		23.7	8.9	4.9

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	1,656	569	34.4	60.22
2022年3月期	1,794	534	29.8	56.50

(参考) 自己資本 2023年3月期 569百万円 2022年3月期 534百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	110	127	133	788
2022年3月期	552	39	214	676

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		0.00	0.00			
2023年3月期		0.00		0.00	0.00			
2024年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,380	6.5	190		195		195		20.62
通期	3,500	16.3	120	51.2	110	93.7	80	93.8	8.46

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	9,456,500 株	2022年3月期	9,456,500 株
期末自己株式数	2023年3月期	1,004 株	2022年3月期	1,004 株
期中平均株式数	2023年3月期	9,455,496 株	2022年3月期	9,455,496 株

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	201	13.1	1	93.8	2		119	
2022年3月期	232	5.8	29	70.0	19	18.5	69	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	12.60	
2022年3月期	7.34	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	1,043	509	48.9	53.92
2022年3月期	845	390	46.2	41.32

(参考) 自己資本 2023年3月期 509百万円 2022年3月期 390百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階へ移行が進められる中、各種政策の効果等により持ち直していくことが期待されておりますが、原材料価格の上昇や急激な円安進行等により景気への影響が懸念され、先行きは依然として厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客向けのシステム開発、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズの開発及び販売、並びにAndroidスマホによるタッチ決済ソリューション「Tapion」の開発に注力いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高3,009百万円（前期比7.4%減）、営業利益79百万円（前期比49.7%減）、経常利益56百万円（前期比63.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益41百万円（前期比63.8%減）となりました。

		当期 (連結)	前期 (連結)	前期比	
				増減額	増減率
売上高	C & S 事業(*)	1,009	916	92	10.1%
	サービス事業	1,881	2,142	△261	△12.2%
	ECソリューション事業	118	190	△71	△37.8%
	調整額	-	-	-	-
	売上高	3,009	3,249	△240	△7.4%
営業損益	C & S 事業(*)	163	82	80	96.6%
	サービス事業	229	414	△184	△44.5%
	ECソリューション事業	△41	△75	34	-
	調整額	△272	△264	△8	-
	営業損益	79	157	△78	△49.7%
経常損益	56	154	△97	△63.3%	
親会社株主に帰属する当期純損益	41	114	△72	△63.8%	

(*) C & S 事業：コンサルティング&ソリューション事業

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コンサルティング&ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、事業会社の基幹システム開発及び既存顧客向けのシステム開発・保守等を行いました。

引き合い状況は堅調であり、前年同期比で増収増益となりました。

以上の結果、売上高は1,009百万円（前期比10.1%増）、営業利益は163百万円（前期比96.6%増）となりました。

② サービス事業

サービス事業においては、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズや無人精算機向けの決済ソリューションの開発及び販売、並びにマイナンバーカードを用いた公的個人認証サービス「myVerifist（マイ・ベリフィスト）」及びAndroidスマホによるタッチ決済ソリューション「Tapion」の開発に注力いたしました。

前期に「Incredist」の大型納品があった反動により、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は1,881百万円（前期比12.2%減）、営業利益は229百万円（前期比44.5%減）となりました。

③ ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売に注力いたしました。

前期に多額のプロジェクト損失を計上した反動により赤字幅が縮小しております。

以上の結果、売上高は118百万円（前期比37.8%減）、営業損失は41百万円（前期は営業損失75百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比べ138百万円減少し、1,656百万円となりました。主な増減要因は、売掛金の減少（191百万円減）、前渡金の減少（127百万円減）、無形固定資産の増加（115百万円増）及び現金及び預金の増加（111百万円増）であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ173百万円減少し、1,087百万円となりました。主な増減要因は、社債の増加（274百万円増）、借入金の減少（133百万円減）、契約負債の減少（129百万円減）、未払消費税等の減少（83百万円減）及び未払法人税等の減少（47百万円減）であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ35百万円増加し、569百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の発生（41百万円）であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、主として社債発行による収入、売上債権の減少並びに契約負債の減少により、当連結会計年度末は788百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は110百万円(前期は552百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益56百万円の計上、売上債権の減少211百万円及び契約負債の減少129百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は127百万円(前期は39百万円の支出)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出110百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は133百万円(前期は214百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出233百万円、社債発行による収入442百万円及び社債の償還による支出176百万円等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
自己資本比率(%)	38.9	31.1	25.3	29.8	34.4
時価ベースの自己資本比率(%)	838.5	277.8	349.6	222.9	254.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	0.5	—	1.2	7.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	19.2	—	28.8	30.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) 2019年3月期及び2021年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

(単位：百万円)

	上半期			通 期		
	当期 (実績)	次期 (予想)	当期比	当期 (実績)	次期 (予想)	当期比
売上高	1,295	1,380	84	3,009	3,500	490
営業利益	△71	△190	△118	79	120	40
経常利益	△75	△195	△119	56	110	53
親会社株主に帰属する 当期純利益	△78	△195	△116	41	80	38

次期の見通しにつきましては、コンサルティング&ソリューション事業については、既存顧客向けのシステム開発、DX推進支援、並びに「Google Workspace」等のクラウドサービスを活用したシステム開発支援に注力してまいります。

サービス事業については、マイナンバーカード対応の「Incredist Premium II」や無人自動精算機向け決済端末「VP6800/IFC」の拡販、並びにAndroidスマホによるタッチ決済ソリューション「Tapion」の開発及び拡販、マイナンバーカードを用いた公的個人認証サービス「myVerifist」及び医療機関におけるオンライン資格確認対応の「myVerifist医療エディション」に注力してまいります。

ECソリューション事業については、ECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の拡販に注力してまいります。

次期の連結業績は、売上高は3,500百万円(当期比16.3%増)、営業利益は120百万円(当期比51.2%増)、経常利益は110百万円(当期比93.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は80百万円(当期比93.8%増)の見通しであります。

上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しております。予想には様々な不確定要素が内在しており、予想数値を確約又は保証するものではありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	676,235	788,139
売掛金	431,207	240,163
契約資産	29,458	9,100
商品	183,943	153,964
原材料	60,162	101,215
仕掛品	9,891	633
前渡金	203,363	75,385
その他	50,762	42,256
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	1,644,023	1,409,857
固定資産		
有形固定資産		
建物	38,477	34,374
減価償却累計額	△22,053	△22,117
建物(純額)	16,424	12,257
工具、器具及び備品	187,092	201,230
減価償却累計額	△144,778	△164,196
工具、器具及び備品(純額)	42,313	37,033
有形固定資産合計	58,737	49,291
無形固定資産		
その他	9,440	125,321
無形固定資産合計	9,440	125,321
投資その他の資産		
敷金及び保証金	76,940	67,156
その他	5,484	4,932
投資その他の資産合計	82,424	72,088
固定資産合計	150,603	246,701
資産合計	1,794,626	1,656,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,593	107,105
短期借入金	24,822	57,588
1年内償還予定の社債	136,000	148,000
契約負債	261,307	131,890
未払消費税等	83,589	—
未払法人税等	47,447	—
受注損失引当金	36,900	—
製品保証引当金	25,900	9,000
その他	37,286	35,423
流動負債合計	752,847	489,007
固定負債		
長期借入金	353,332	187,344
社債	130,000	392,000
資産除去債務	20,704	16,566
その他	3,500	2,200
固定負債合計	507,536	598,110
負債合計	1,260,383	1,087,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	△1,856,925	△1,815,638
自己株式	△1,452	△1,452
株主資本合計	542,543	583,831
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△8,300	△14,390
その他の包括利益累計額合計	△8,300	△14,390
純資産合計	534,243	569,441
負債純資産合計	1,794,626	1,656,558

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	3,249,612	3,009,477
売上原価	2,401,084	2,241,425
売上総利益	848,528	768,052
販売費及び一般管理費	690,682	688,666
営業利益	157,845	79,385
営業外収益		
受取利息	18	14
助成金収入	5,719	—
為替差益	16,374	1,683
その他	419	1,436
営業外収益合計	22,531	3,134
営業外費用		
支払利息	19,227	3,678
支払手数料	6,560	20,529
その他	0	1,530
営業外費用合計	25,788	25,738
経常利益	154,588	56,781
税金等調整前当期純利益	154,588	56,781
法人税、住民税及び事業税	40,524	16,794
法人税等調整額	—	△1,300
法人税等合計	40,524	15,494
当期純利益	114,064	41,287
親会社株主に帰属する当期純利益	114,064	41,287

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	114,064	41,287
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△8,485	△6,089
その他の包括利益合計	△8,485	△6,089
包括利益	105,579	35,198
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	105,579	35,198

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,205,123	1,195,798	△1,970,990	△1,452	428,479
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			114,064		114,064
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					-
当期変動額合計			114,064		114,064
当期末残高	1,205,123	1,195,798	△1,856,925	△1,452	542,543

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	184	184	428,664
当期変動額			
親会社株主に帰属する 当期純利益			114,064
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△8,485	△8,485	△8,485
当期変動額合計	△8,485	△8,485	105,579
当期末残高	△8,300	△8,300	534,243

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,205,123	1,195,798	△1,856,925	△1,452	542,543
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			41,287		41,287
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					-
当期変動額合計			41,287		41,287
当期末残高	1,205,123	1,195,798	△1,815,638	△1,452	583,831

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	△8,300	△8,300	534,243
当期変動額			
親会社株主に帰属する 当期純利益			41,287
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△6,089	△6,089	△6,089
当期変動額合計	△6,089	△6,089	35,198
当期末残高	△14,390	△14,390	569,441

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	154,588	56,781
減価償却費	29,463	30,947
支払利息	19,227	3,678
売上債権の増減額 (△は増加)	110,029	211,403
棚卸資産の増減額 (△は増加)	226,553	△1,821
仕入債務の増減額 (△は減少)	△34,006	7,511
契約負債の増減額 (△は減少)	164,004	△129,416
前渡金の増減額 (△は増加)	△160,226	127,977
その他	19,058	△122,982
小計	528,692	184,078
利息及び配当金の受取額	18	14
利息の支払額	△19,227	△3,678
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	43,391	△69,557
営業活動によるキャッシュ・フロー	552,874	110,856
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,052	△16,977
無形固定資産の取得による支出	△4,440	△110,655
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,492	△127,632
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	-
長期借入れによる収入	140,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△30,467	△233,222
社債の発行による収入	-	442,604
社債の償還による支出	△124,000	△176,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,467	133,382
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,598	△4,701
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	300,513	111,904
現金及び現金同等物の期首残高	375,721	676,235
現金及び現金同等物の期末残高	676,235	788,139

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別の事業部を置き、各々が包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「コンサルティング&ソリューション事業」、「サービス事業」及び「ECソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「コンサルティング&ソリューション事業」は、物流系や金融系を中心とした事業会社向けのシステムコンサルティング、システム開発・保守、並びにクラウドサービスを活用したシステム開発支援等を行っております。

「サービス事業」は、自社製品の電子決済ソリューション「Incredist」シリーズ及び無人自動精算機向けの決済ソリューション等の開発、販売を行っております。

「ECソリューション事業」は、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売、並びに本パッケージ導入に係るコンサルティングやシステム開発及び保守を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス 事業	EC ソリューション 事業			
売上高						
一時点で移転される財	353,280	1,576,197	101,975	2,031,452	-	2,031,452
一定の期間にわたり移転される財	563,330	566,631	88,197	1,218,159	-	1,218,159
顧客との契約から生じる収益	916,610	2,142,828	190,173	3,249,612	-	3,249,612
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	916,610	2,142,828	190,173	3,249,612	-	3,249,612
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	916,610	2,142,828	190,173	3,249,612	-	3,249,612
セグメント利益又は損失(△)	82,967	414,253	△75,295	421,925	△264,079	157,845
セグメント資産	190,274	819,131	67,975	1,077,381	717,244	1,794,626
その他の項目						
減価償却費	1,646	24,044	526	26,218	3,245	29,463
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,180	38,174	-	39,354	137	39,492

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産及びその他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	連結財務諸表計上額
	コンサルティング &ソリューション 事業	サービス 事業	EC ソリューション 事業			
売上高						
一時点で移転される財	248,164	1,310,224	55,292	1,613,681	-	1,613,681
一定の期間にわたり移転される財	761,394	571,340	63,062	1,395,796	-	1,395,796
顧客との契約から生じる収益	1,009,558	1,881,564	118,355	3,009,477	-	3,009,477
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	1,009,558	1,881,564	118,355	3,009,477	-	3,009,477
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,009,558	1,881,564	118,355	3,009,477	-	3,009,477
セグメント利益又は損失 (△)	163,142	229,933	△41,189	351,886	△272,500	79,385
セグメント資産	157,385	650,844	14,334	822,563	833,995	1,656,558
その他の項目						
減価償却費	1,682	25,978	334	27,995	2,951	30,947
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,317	136,301	291	138,910	2,650	141,560

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産及びその他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	56円50銭	60円22銭
1株当たり当期純利益	12円06銭	4円37銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	534,243	569,441
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	-	-
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	534,243	569,441
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	9,455,496	9,455,496
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	114,064	41,287
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	114,064	41,287
期中平均株式数 (株)	9,455,496	9,455,496

(重要な後発事象)

該当事項はありません。